



4月某日、高所作業車を借りて株式会社太飛の大看板を清掃しました。普段掃除ができるところではないため、汚れてはいるだろうなあ、とは思っていましたが、全体的に白っぽくなっていたのもあり「看板も随分日に焼きましたね」という話を時々していたのですが…。いざ清掃してみると、みるみるうちに汚れを含んだ水が流れ出し…こんなに汚れているなんて、と驚きました。紫外線や雨風に晒されている分当然、汚れも付着しますよね、いつも社名を掲げてくれている看板にも感謝です。緑も鮮やかになり、スッキリきらきらとした大看板でした。



講習については、今まで太飛で行ってきた講習の総復習を行いました。「丁張りの掛け方」「打設時に注意すること」「道具の使用用途」など過去に工事部で行った講習を復習しながら再度学習をすることで、気をつける点や意識が薄くなっていたことなどを再認識し、工事の品質を高めることを目的としています。総復習テストの結果を元に、意外と皆の間違が多かった箇所などを追加で学習を行っていました。

またその学習とは別に、研修生たちの日本語勉強も行いました。日本語能力試験は、日本国内および海外において、日本語を母語としない人を対象として日本語の能力を測定し、認定することを目的として行う試験で、一番やさしい「N5」から一番むずかしい「N1」まであります。「N5」「N4」は基本的な日本語を理解できるレベルとなっていますが、漢字が入ってくるので研修生たちには、とても難しいようです。会話はとてもべらべら話せるレベルでも、やはり読み書きとなると勝手は変わってきますね、漢字の成り立ちなどの小話を交えながら教えていると、興味津々で学んでくれます。今後も技術面、語学もしっかり学んで技術を国に持って帰れるように、みんなでサポートしていきます。